

2023年度後期		知の市場(シラバス)								継続新規		
科目No.	関連講座GR512d	科目名	比較イノベーション論事例研究(4)				副題	高度成長期イノベーションとITイノベーションの原理を比較検証してイノベーションの活性化を探る				
連携機関名	社会技術革新学会	水準	基礎	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	第2水曜日 19:00～21:00	拠点 (開講機関)	リモート・品川東 (知の市場)	
科目概要(300字)	日本企業のイノベーションは高度成長期に大きく花を咲かせたが、1990年代を超えると大きく後退した。中でもITイノベーションでは米国の独走を許し、その遅れは深刻である。そこで、前期は日本の高度成長期のイノベーション原理について考察し、後期は米国が実践したITイノベーションについて具体的に検証する。この比較検証により、日本におけるイノベーションの活性化の方策を探る。											
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)					講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
日米のITイノベーション	1	ITイノベーション概論	日本の失われた30年の間に行われた米国のITイノベーションは、現在に至るまで世界のITイノベーションをリードしているので、その基本的な考え方をを概観する。					2023/10/11	Zoomを活用してリモート開催。	山口 真人	山口 真人	社会技術革新学会 会員
	2	第1次ITイノベーション	第1次ITイノベーションでは、インテルとマイクロソフトが実行したイノベーションを比較検証すると共に、日本企業の企業ITへの取組みを検証する。					2023/11/8				
	3	第2次ITイノベーション	第2次ITイノベーションではインターネットを中心に経済活動が広く行われるようになった。GAFAを中心に行われたイノベーションを比較検証し、日本企業が大きく出遅れた理由を検証する。					2023/12/13				
	4	DXへの進展 AIとビッグデータの展望	ビッグデータ×AIが主体で進むデジタルトランスフォーメーションについて、イノベーションの観点から検証する。					2024/1/10				
	5	デジタル庁の取組	日本においては、遅まきながら民間におけるITイノベーションが徐々に進展する一方、国家ITシステムのデジタル化が大きく取り残された。日本国政府はデジタル庁を設置し、ITイノベーションの遅れを取り戻す取り組みを開始したので、その現状を検証する。					2024/2/14				
	6	日本はITイノベーションに如何に取り組むべきか	日本のITイノベーションを本格化させるために、どのように考えたらよいかについて検証する。					2024/3/13				